

縄文 × 美術

いのち

絵画と  
原始造形の  
美

葦崎大村美術館企画展

「いのち～絵画と原始造形の美～」

# 企画展記念講演会

2019年10月26日(土)

13:30開始(13:00受付)

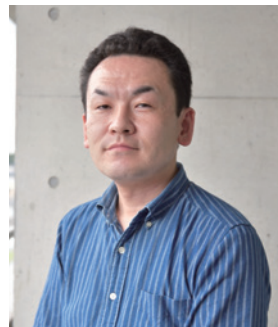
岡本太郎研究で知られる講師をお招きし、美術と縄文文化の関りについてお話しいただきます。

会場 葦崎大村美術館 展望室

定員 50名【要予約】

参加費 無料(要入館料)

※お申込みは電話にて。定員になり次第締め切ります。



講師

すのほら ふみひろ  
春原 史寛 氏

(武蔵野美術大学芸術文化学科准教授)

1978年長野県生まれ。

専門は近現代日本美術史(岡本太郎研究、日本における美術受容史など)、美術鑑賞教育。

2001-2006年 大川美術館学芸員

2009-2011年 山梨県立美術館学芸員

2012年 山梨県立博物館学芸員

2013-2018年 群馬大学教育学部准教授

2018年 武蔵野美術大学准教授

筑波大学大学院博士後期課程修了  
博士(芸術学)

身近なものがスタンプに変身!  
押してびっくり!?  
模様でアートを作ろう

2019年11月2日(土)

13:00～15:00(受付12:45～)

縄文人は土器を作るとき、縄や貝殻などで模様をつけていたんだって!  
身近にあるものをスタンプにしたら、どんな模様ができるんだろう?  
いろいろなものを押ししたり転がしたりして、自由に描いてみよう!

定員: 20名(未就学児は保護者同伴)

場所: 葦崎大村美術館、螢雪寮(大村博士生家)

講師: 吉野剛広先生

持ち物: 飲み物、ハンカチ、汚れてもいい服装

参加費: 入館料 ※葦崎市内在住の小中学生は無料

お申込みは電話にて受付。

申込期間: 10月12日(土)～ 定員になり次第終了

13:00開始  
企画展示室

【参加者限定】学芸員による企画展ツアー  
土器・土偶の模様を探る!

縄文人は土器・土偶にどんなふうに模様をつけたのかな?  
どんな意味があるのかな?その謎を観察して考えてみよう!



ぺたぺたころころ♪  
思いがけない形を  
楽しみながら  
自分だけの絵を  
つくってみよう!

